

医療安全研修と活動

令和元年度医療安全研修

テーマ	研修名	開催月	対象者	参加者
第1回医療安全研修会	災害時における診療業務の継続	5月	全体	284名(40.6%)
	DVDフォローアップ6回とインターネット研修			365名(51.1%)
第2回医療安全研修会	医療対話推進	10月	全体	291名(40.6%)
	DVDフォローアップ8回とインターネット研修			349名(48.9%)
協力研修	身体抑制の基礎	5月	新人	38名
	造影剤副作用対応	9月	全体	34名
	身体抑制と心理ケア	11月	全体	30名
	MET 報告会	2月	全体	70名
医療安全教育	SMT 活動報告会	3月	全体	50名
	新採用者オリエンテーション	4月	新採用	35名
	医療安全ラダーⅠ(インシデントレポート)	7月	新人	19名
	医療安全研修(秘守義務・個人情報保護)	7月	看護	31名
		2回	補助者	
	看護管理者研修	1月	看護部	3名

医療安全活動

1) 院内巡視

令和元年度の院内巡視は、継続して救急カートの点検ラウンドをおこないました。

患者確認が実施出来ているか配膳前確認ラウンドやインシデントKYTを説明実施しました。



<食事の配膳>

① 患者・家族が配膳車に食事を取りに来て渡す場合は、**患者氏名を名乗ってもらい、食札を見て本人のものであることを一緒に確認**してもらう。

② 職員が部屋に運ぶ場合には、**可能であれば氏名を名乗ってもらい、食札を見て本人のものであることを一緒に確認**してもらう。患者本人に確認できない場合は、家族か付き添いの人に確認してもらう。

6月配膳時患者確認をどのように実施しているかラウンドさせていただきました。**「OOさんですね」という確認がほとんどでした。**上記がマニュアルです。正しい確認方法で配膳をお願いします。今後も、配膳以外にも患者確認ラウンドを継続していきます。



インシデントKYT

第1ラウンド：どんな危険がありますか(現状把握)

⇒状況の中に**潜在危険要因**

(見えるもの・未だ見えないものを発見し、その要因の引き起こす減少を想定する)

第2ラウンド：これが危険のポイントだ(本質追求)

⇒発見した**危険要因のうち、これが重要だと思われる危険を把握して〇印**、更に絞り込んで◎印を付け指差唱和する。

第3ラウンド：対策を指示する(対策の樹立)

⇒◎印を付けた**危険要因を解決するのはどうしたらよいか考え具体的な対策を**考える。

第4ラウンド：私達はこうする(目標設定)

⇒対策のうち**重点実施項目を絞り込んで※印を付け、それを実践するための重点実施目標を設定し唱和する。**

2) 医療安全ニュース

毎月1回「ANZEN」と題した、医療安全に関するニュースを掲示板に提示しています。

職員の皆さんにお知らせしたい内容や事例などを紹介しています。また、お互いの部署を知り、安全対策に活かそうということで、各部署の紹介もしています。

3) 医療安全情報

日本医療機能評価機構より毎月1回、医療安全情報が届きます。こちら電子カルテの掲示板に掲示しますが、その際には当院での事例や当院での対策なども一緒に掲示するようにしています。

4) SMT (Safety Management Team) 活動

令和元年度は、「内服薬チーム」、「転倒・転落防止チーム」、「身体抑制に関する検討チーム」「TeamSTEPPS 推進チーム」に加え「情報共有チーム」を立ち上げました。年度末に活動報告会を行ない、情報共有をしています。各チーム活動を通して臨床におけるエラーを減らす活動を継続していきます。

SMT報告会

医療安全情報って知ってますか? 毎月掲示板に載せています。

同じことを起こさないための注意喚起!
 実際自分で起こしてしまったインシデントは注意するけど知らない事例はどうしている?

2020 No.7 アンケート調査の結果がでました。回収率 43%。昨年と比較すると、部署内のチームワーク状況として、リーダーシップと相互支援が上がっていました。

チーム機能 +0.02 ↑
 一部署内のチームワーク状況
 個人のチームワークに対する考え方

コミュニケーション -0.01 ↓
 コミュニケーションがやや低下。声出し確認(コールアウト)、確認(チェックバック)、非言語的サインオフを上手に使いこなすことを心がけていきたいと思います。

相互支援 +0.05 ↑
 2回連続で確認のルールとなり、相互支援に留意したと考えられます。今後も安全が脅かされている状態がある場合、勇気を出してチェックし、そして、声をかけてください。

リーダーシップ +0.02 ↑
 今年度は医療安全管理委員会の場にてチーム活動推進のミニレクチャーを導入しました。各部署のリーダーシップが磨かれた結果と見られています。

状況モニター +0.02 ↑

各部署ごとの詳しいアンケート結果は掲示板で閲覧出来ます。他部署との比較ではなく、自部署の昨年度の結果と照らし合わせて、強みや課題を分析するなど活用下さい。

今年度もチームは、医療の質と患者安全を高めるために、担い手文化を促す活動を継続していきます。

ご協力ありがとうございました